

ATEM 西日本支部 10 周年記念論文集

投稿規定

(以下、映画英語教育学会紀要『映画英語教育研究』の投稿規程に準じます。)

「研究論文」もしくは「教育実践報告」として応募して下さい。採用基準は以下の通り。

「研究論文」

1. 研究論文としてテーマ・内容が有意義か。
2. 論旨に一貫性があるか。
3. オリジナリティが認められるか。
4. 映画英語教育という視点に立っているか。
5. 研究論文として構成が適切か。
6. 研究論文としての論証が充分か。
7. 先行研究を充分踏まえているか。

「研究ノート」

1. 研究論文ノートとしてテーマ・内容が有意義か。
2. 論旨に一貫性があるか。
3. オリジナリティが認められるか。
4. 映画英語教育という視点に立っているか。
5. 研究ノートとして構成が適切か。
6. 研究ノートとして記述が適切か。
7. 注意:「研究ノート」は、今後の研究テーマに結びつくような着想をまとめたものや、研究論文の準備段階としてのパイロット・スタディー等を対象とします。

「教育実践報告」

1. 教育実践報告としてテーマ・内容が有意義か
2. 論旨に一貫性があるか
3. オリジナリティが認められるか
4. 映画英語教育という視点に立っているか
5. 教育実践報告としての構成が適切か
6. 教育方法の記述が具体的かつ適切か
7. 注意:「研究論文」とは異なり、「教育実践報告」は、映画を使った独創的な授業方法や教材開発についての報告・紹介等とし、必ずしも実証的・統計的・理論的な検証を要求しないものとします。

【投稿資格】

本紀要への投稿は所定の学会費を完納した学会員に限ります。ただし委嘱論文についてはこの限りではありません。

【書式】

- 原稿は MS-Word により作成し、使用する書体は、和文の場合「明朝体」、英文の場合

合「TimesNewRoman」で、文字サイズは 10.5 ポイントとします。

- 用紙のサイズは A4 版とし、上下左右 25 mmの余白を取り、1 ページの行数を 30 行として 13 頁以内とします。これには注や文献書誌、写真、図表等も含まれます。
- 映画のシーンを写真として利用する場合には、執筆者本人が全責任を負うものとし、著作権所有者と交渉し、正式な掲載許可を得た上で行って下さい。
- 写真は、そのまま版下に使える良質の状態のものを Word 文書に貼り付けて下さい。
- 注は原稿末尾にまとめて下さい。引用文が英語以外の外国語の場合には英訳または和訳を付けて下さい。引用文が英語の場合は不要です。
- 外国の人名、地名等の固有名詞、及び書名などは、初出箇所では原綴を使用して下さい。
- その他の書式の詳細については、
Publication Manual of the American Psychological Association (APA)
の最新版を参照して下さい。医学書院から『APA 論文作成マニュアル』として日本語訳も発行されています。

【投稿用紙】

別添の「投稿用紙」に必要事項を記入し、論文に添付してください。要旨は 200 語程度の英文にまとめて添付して下さい。書式は上記と同様とします。本文が英文である場合も規定通り英文で要旨をつけて下さい。

【提出方法】

応募原稿は、添付ファイルとして ATEM 西日本支部事務局(m-imura@ip.oit.ac.jp)まで電子メールで送信して下さい。送信後 3 日(土日祝日を除く)を過ぎても、事務局から受領確認のメールがない場合は、送信・受信トラブルが考えられますので、事務局へ電子メールまたは電話にて確認をとって下さい。(Tel: 06-6954-4369)

【締め切り】

2013 年 3 月 31 日必着。

【諸注意】

- 研究論文、教育実践報告は、応募時点で未発表であり、他所で掲載審査中でないものに限ります。
- ワープロ独自のファイル形式、及び FAX による応募は一切受け付けません。また、応募原稿はお返ししませんので、コピーは必ず執筆者が保管しておいて下さい。
- 英語論文は、必ず英語母語話者のチェックを受けて下さい。

【審査】

応募された原稿は、論文編集委員会の審査を経て、掲載の可否が決定されます。ただし、必要に応じて、原稿に一部修正、応募区分の変更(研究論文から教育実践報告へ)を求めることがあります。

【初校の校正】

校正は、初校は執筆者にお願いしますが、誤植の訂正のみに限らせていただきます。内容に関する加筆訂正はご遠慮願います。

【著作権】

学会誌に掲載された論文、報告等の著作権は学会に帰属することになります。